

「第7回おでかけ交通博 2022in せんだい」を開催しました！

令和4年10月14日（金）に仙台国際センターにおいて「第7回おでかけ交通博 2022in せんだい」を開催しました。（共催：仙台市 協力：福島大学）

「おでかけ交通博」は、主に地方公共団体の交通担当者や交通事業者等を対象として、喫緊の課題である地域の「おでかけの足」について考えるきっかけとするべく、福島大学の協力を得て、平成27年より開始し、これまで6回、東北各地で開催してきました。直近2年は新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、オンライン形式の特別版として開催しましたが、今年は3年ぶりに対面集合形式で開催することができ、総勢184名の参加となりました。

午前中は「トークセッション with 東北仕事人」と称し、開催地域の交通やまちづくりに携わる方々と、東北各地の公共交通に携わる有識者である「地域公共交通東北仕事人」（以下、「東北仕事人」）にご登壇いただき、パネルディスカッションを行いました。東北仕事人でもある福島大学・吉田樹准教授にコーディネーターを務めていただき、パネリストとしては、仙台市で交通やまちづくりに取り組むプロジェクト推進課・定禅寺通活性化室、交通事業者の宮城交通株式会社、そして東北仕事人の交通ジャーナリスト鈴木文彦氏にご登壇いただきました。

各登壇者からは、「仙台市における今後の交通、まちづくりのあり方と『おでかけ復興』」をテーマに、MaaSの取組やバスの案内の工夫、乗ってみたいくなるような仕掛けなど、取組のご説明や、登壇者間でのご議論をいただきました。



【トークセッションの様子】

午後には、東北各地の自治体や交通事業者などの計22団体に出展いただき、ポスターセッションを実施しました。各団体から1分間で取組をPRしていただき、その後、取組をまとめたポスターや資料により、それぞれの取組について説明いただきました。参加者は興味関心のある団体の取組について、担当者より詳細を伺いながら意見交換を行いました。



【ポスターセッションの様子】

また、翌日 15 日（土）には「エクスカーション」を開催しました。参加者を 2 つのグループに分け、仙台市交通局荒井車両基地、せんだい 3・11 メモリアル交流館、震災遺構仙台市立荒浜小学校の 3 箇所を仙台市地下鉄、仙台市営バスを利用しながら見学し、仙台市内の「おでかけ」を体験していただきました。



【荒井車両基地】



【せんだい 3・11 メモリアル交流館】



【荒浜小学校】

3 年ぶりの対面集合形式での開催でしたが、非常に多くの方にご参加いただき、盛況となりました。また、参加者の皆様から、「大変有意義だった」「参考になる事例紹介がたくさんあった」など、多数の満足の声をいただいております。東北運輸局においては、今後もこのような機会を通じて、地域の「おでかけの足」の確保・維持・活性化に係る取組を後押ししていきます。